

## 2023 年度第 1 回安全保障研究部会兼 IT・AI・情報学研究部会研究会実施報告

### 1 実施日

2023 年 7 月 15 日（土）13:00～17:00（勉強会）

17:00～18:30（懇親会・意見交換会）

### 2 場 所

東京都中野区立地域活動センター会議室 B

### 3 参加者

安保研・AI 研部会長、幹事以下 8 名（乾一字学会顧問を含む）

### 4 勉強会の概要

#### （1）セッション 1（安全保障研究部会）

泉谷安保研幹事より、「エネルギーの長期的な安定供給に関する一考察」について、昨年度日本大学大学院総合社会情報研究科において修得した博士論文の内容を中心に発表があった。

発表の概要は以下のとおり。

- ・本研究の着眼点及び理論的背景
- ・南海トラフ巨大地震が発生した時に 2010 年度と 2015 年の電源構成は、どちらが地震・津波に強いのか？（震災前と原発の全停止した時期の比較）
- ・首都直下型地震で東京湾の火力発電用燃料の供給が途絶したら？
- ・カーボンニュートラルの周辺知識
- ・政府の掲げるカーボンニュートラル（2030 年度）の計画の実現性は？
- ・先行研究の紹介

発表後、電力インフラのレジリエンスについて、BCP（事業継続計画）や自然災害以外の阻害要因（サイバー攻撃や実際の紛争生起時など）を中心にディスカッションが行われた。

#### （2）セッション 2（IT・AI・情報学研究部会）

村上 AI 研幹事（学会理事）より、「生成 AI の利用について－ChatGPT の利用とこれからの課題」についての発表があった。発表資料そのものを生成 AI（ChatGPT）により作成したとの問題提起があり、我々が今後急激に発達する生成 AI とどのように向き合わなければならないかの、激しいディスカッションが行われた。

発表の概要は以下のとおり。

- ・AI の歴史
- ・AI の現状

- ・生成 AI 利用の長所と短所
- ・生成 AI と人類の付き合いかた

特に、生成 AI の欠点である、「偽情報に左右されやすい問題」や「倫理的な問題」に関して参加者の各位考え方と発表者の見方について、深い討議が行われ、今後の視点等についても論点整理が行われた。本課題については、部会研究会でも引き続き追いかけていくことと致したい。

また、AI 研の行事として参加を企画した 4 月 10 日実施の「明治大学サイバーセキュリティ研究所主催ウェビナー（部会長佐々木がパネラーとして参加）」の内容に関して、事後の意見交換も実施した。

### （3）セッション 3（中国の現状及び我が国への影響と各研究員の進捗状況）

参加者間で我が国に多大な影響があると考えられる中国の安全保障の問題について多角的見地からフリーディスカッションを実施した。

また、今回のセッションでのテーマとは別に、参加会員が現状進めている調査・研究活動及び現在視点に持っている事項についての中間報告を実施した。

### （4）その他

以後の両部会の行事予定は以下のとおりである。

- 9 月～10 月 IT・AI・情報学研究部会主催オープンセミナー（AI をテーマに企画予定）
- 2 月 学会主催「第 8 回安全保障セミナー」
- 4 / 四半期に、両部会の勉強会を企画

（部会長佐々木記）

### （研究会の様子 1）



(研究会の様子2)

